



陸普副官ヨリ陸軍技術本部長へ通牒  
 首題彈薬一月七日附陸技本甲第六號  
 上申ノ通定メラルヘキニ付該圖面(概說共)別紙目錄ノ通  
 送付相成度

陸普第一六〇號 昭和十一年一月十六日

右圖面送付アリタル後左案決行相成度

陸普副官ヨリ別紙配賦表ノ箇所へ通牒  
 首題彈薬別紙圖面ノ通定メラレシニ付該圖  
 面別紙目錄ノ通部送付ス

陸普第一〇三〇號 昭和十二年三月一日

昭和拾貳年五月廿四日

四年或十五粧榴彈砲外觀點九五式破甲榴彈圖面配賦目錄

一、四或十五粧榴彈砲彈藥九五式破甲榴彈（概說共）

二、三或十五粧榴彈砲彈藥九五式破甲榴彈（概說共）

三、鋼製十五粧的砲彈藥九五式破甲榴彈（概說共）

四、十五粧加曲辰彈藥九五式破甲榴彈（概說共）

五、八九或十五粧加曲辰彈藥九五式破甲榴彈（概說共）

一〇三部  
九七部  
九四部  
九四部

1190

四年五月十五日黒九五式被甲柄彈圓面配布表		陸軍	
筒	兵器	軍械十五桶	鋼製十五箱
教育總監部	兵	一	一
參天車隊	器	六	一
生	焉	一	一
技術本部	兵	五	一
築城部車部	器	四	一
近二師團	焉	三	一
第一師團	兵	四	一
第三師團	器	二	一
第四師團	焉	五	一
第七師團	兵	四	一
第十二師團	器	三	一
		加	加



別紙添付  
圖面

陸技本甲第七號

四年式十五糰榴彈砲彈藥九五式破甲榴彈假制式制定  
昭和十二年一月七日 陸軍技術本部長 久村種

陸軍大臣伯爵 寺内壽一殿

首題彈藥ハ審査ノ結果實用ニ適スルモノト認ムルヲ以テ假制式トシテ制定セラレ  
度左記圖書相添ヘ上申ス

左記

- 一、四年式十五糰榴彈砲彈藥九五式甲榴彈圖 一部
- 二、同 概說 二部
- 三、細目名稱表中追加



昭和十一年十一月  
陸軍技術本部

陸軍  
軍

四年  
式十五糰榴彈砲彈藥九五式破甲榴彈概說

## 四年式十五糰榴弾砲弾九五式破甲榴弾概説

### 第一 審査ノ目的及用途

本弾ハ四年式十五糰榴弾砲用ニシテ尙三八式十五糰榴弾砲及鋼製十五糰臼砲ニモ兼用シ「ベトン」製構築物或ハ凍結セル野戰築城等堅硬ナル目標ノ破壊ヲ主目的トセルモノニシテ現制ノ破甲榴弾ヨリ一層信管機能ヲ良好ナラシムル爲九五式破甲中弾底信管ヲ使用セルモノナリ

而シテ本弾制定ノ上ハ現制破甲榴弾及八式破甲榴弾ニ代ルヘキモノトス

### 第二 構造及機能

本弾ハ弾丸、炸薬及信管ヨリ成リ全備弾量約三五匁八八〇、全長約三口徑ノ蛋形弾ナリ

弾丸ハ体、弾帶、底螺及銅環ヨリ成リ弾体ハ蛋形半徑約二口徑、  
弾頭肉厚約一〇五耗ノ鋼製拵出弾体ニシテ下部内側ニ底螺ヲねぢ  
著クヘキねぢ部ヲ設ケ又下部外周ニハ幅二〇耗ノ鋼製弾体一條ヲ  
表ス

底螺ニハ弾体底部ニねぢ著クヘキねぢ部ヲ有シ中央ニハ信管孔ヲ設ケ信管ヲねぢ著クヘキねぢ部ヲ設ク  
銅環ハ厚サ一耗ノ銅製環状板ニシテ底螺ニ設ケタル深サ〇・五耗ノ  
環状ノ緊繩薄ニ嵌装シ底螺ヲ緊定セシ際密繩ヲ確實ニシ火薬ガス  
ノ侵入ヲ防止ス

信管ハ九五式破甲中彈底信管「榴臼」ヲ使用シ底螺ノ信管孔ニね  
ぢ著ク

炸薬ハ黄那藥ノ被包熔融式ニシテ頭部及底部ノ二部ヨリ成リ重量  
約二匁五一〇ナリ頭部ニハほほのき製炸薬頭ヲ冠シ彈著ノ衝擊ニ  
ヨリ炸薬自燃スルコトナク而モ信管ニヨリ完全ニ爆發スル如クス  
構造以上ノ如クナルヲ以テ本弾ハ堅便ナル弾頭ヲ以テ「ベトン」  
体等ニ侵徹シタル後延期作用ヲ有スル信管ノ作用ニヨリ炸裂シ破  
壊ノ效力ヲ呈スルモノトス

### 第三 戰力

四年式十五粍榴彈砲一號裝藥ニテ初速約三九八米ニシテ「ベトン」

製構築物ニ對シテハ數彈同一場所ニ命中スルコトニ依リ相當大ナル  
破壊效力ヲ呈シ又凍結セル野戰築城ニ對シテハ一彈ニテ相當ノ效力  
ヲ呈シ得ヘシ

#### 第四 審査經過ノ概要

本弾ハ現制ノ破甲榴弾ニ破甲中弾底信管「榴臼」ヲ使用スル如ク底  
螺及炸薬ヲ修正セルモノニシテ昭和十年六月伊良湖射場ニ於テ第一  
回試験ヲ實施シ信管安全度及起爆力ハ十分ナリシモ安全扉ノ機能十  
分ナラサリシヲ以テ同年十月更ニ第二回試験ヲ實施シ概本機能良好  
ナルモノヲ得タリ依テ同年末本弾五〇發ヲ北滿試験ニ送付シ昭和十  
一年一月齊々哈爾ニ於テ凍結セル野戰築城ニ對シ射擊シ一弾ニテ相  
當ノ破壊效力ヲ呈シ弾丸機能モ概不良好ナリシモ信管ニ起因スル不  
發弾少數アリ爾後信管ノ修正ヲ行ヒ機能良好ナルモノヲ得タルヲ以  
テ十分實用ニ適スルモノト認メ茲ニ四年式十五粍榴弾砲弾藥九五式  
破甲榴弾トシテ假制式制定ノ上申ヲ爲スニ至レリ

圖別  
西添付

一九

陸技本甲第八號

三八式十五糢榴彈砲彈藥九五式破甲榴彈假制式制定ノ件上申

昭和十二年一月七日 陸軍技術本部長 久村

陸軍大臣伯爵 寺内毒一殿

首題彈藥ハ審査ノ結果實用ニ適スルモノト認ムルヲ以テ假制式トシテ制定セラレ  
度左記圖書相添ヘ上申ス

左記

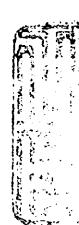
一、三八式十五糢榴彈砲彈藥九五式破甲榴彈圖

一部

概說

二、同  
細目名稱表中追加  
二部

1197



三八式十五糰榴彈砲彈藥九五式破甲榴彈概說

昭和十一年十二月  
陸軍技術本部

陸軍

陸

軍

## 三八式十五粍榴彈砲彈藥九五式破甲榴彈概說

### 第一 審査ノ目的及用途

本彈ハ四年式十五粍榴彈砲彈藥九五式破甲榴彈ノ審査完了ニ伴ヒ之ヲ三八式十五粍榴彈砲ニ兼用シ十五粍榴彈砲級彈丸ヲ統制セルモノニシテ本彈制定ノ上へ現制破甲榴彈及八式破甲榴彈ヲ代ルヘキモノトス

### 第二 備造及機能

本彈ノ備造機能ハ四年式十五粍榴彈砲彈藥九五式破甲榴彈ト全然同一ナリ

### 第三 審査經過ノ概要

本彈ハ玉トシテ四年式十五粍榴彈砲ヲ以テ審査セルモノニシテ三八式十五粍榴彈砲ニテハ實射セサルモ十分實用ニ適スルモノト認ムルヲ以テ茲ニ三八式十五粍榴彈砲彈藥九五式破甲榴彈トシテ假制式制定ノ上申ヲ爲スニ至レリ

別紙添付  
圖面添付

陸技本甲第六號

銅製十五粍白砲彈藥九五式破甲榴彈假制式制定ノ件上申

昭和十二年一月七日

陸軍技術本部長 久 村 種

陸軍大臣伯爵 寺 內 達 一 殿

首題彈藥ハ審査ノ結果實用ニ適スルモノト認ムルヲ以テ假制式トシテ制定セラレ度  
左記圖書相添ヘ上申ス

左記

銅製十五粍白砲彈藥九五式破甲榴彈圖

概 説

細目名稱表中追加

二 同

一 部  
二 部 部

陸

大

陸

銅製十五糰臼砲弾藥九五式破甲榴弾概說

昭和十一年十二月  
陸軍技術本部

陸軍

## 銅製十五粍臼砲弾藥九五式破甲榴彈概說

### 第一 審査ノ目的及用途

本弾ハ四年式十五粍榴弾砲弾藥九五式破甲榴弾ノ審査完了ニ伴ヒ之ヲ銅製十五粍臼砲ニ兼用シ十五粍榴弾砲級弾丸ヲ統制セルモノニシテ本弾創定ノ上ハ現制破甲榴弾又ハ破甲榴彈ニ代ルヘキモノトス

### 第二 構造及機能

本弾ノ構造機能ハ四年式十五粍榴弾砲弾藥九五式破甲榴弾ト全然同一ナリ

### 第三 審査経過ノ概要

本弾ハ主トシテ四年式十五粍榴弾砲ヲ以テ審査セルモノニシテ銅製十五粍臼砲ニテハ實射セサルモ十分實用ニ適スルモノト認ムルヲ以テ茲ニ銅製十五粍臼砲弾藥九五式破甲榴弾トシテ假制式創定ノ上申ヲ爲スニ至レリ

別紙添付  
陸軍省參照  
圖面添付

陸技本甲第一〇號

四五式  
七年式十五粍加農彈藥九五式破甲榴彈假制式  
九〇式

制定ノ件上申

昭和十二年一月七日

陸軍技術本部長 久 村

陸軍大臣伯爵 寺 内 毒 一 殿

種 樹

首題彈藥ハ審査ノ結果實用ニ適スルモノト認ムルヲ以テ假制式トシテ制定セラレ  
度左記圖書相添ヘ上申ス

左

記

四五式  
七年式十五粍加農彈藥九五式破甲榴彈圖  
九〇式

概說

一 部

二 部

三 部

細目名稱表中追加

六 同

六 同

陸軍

昭和十一年十二月  
國軍技術本部

四五式  
七年式  
九〇式  
十五磅加農彈藥 九五式破甲榴彈概說

1204

陸

軍

四五式  
七年式  
九〇式 ——十五種加農彈藥九五式破甲榴彈概說

第一 番目ノ目的及用途

本彈ハ四五式、七年式、九〇式十五種加農用トシ尙八九式十五種加農ニモ兼用シ得ル如クシ「ベトン」製傳染物或ハ凍結セル野戰藥械等堅硬ナル目標ノ破壊ヲ主目的トセルモノニシテ現制ノ破甲榴彈ヨリ一層彈体威力ヲ増シ且ツ機能及安全度ヲ良好ナラシムルタメ九五式破甲中彈底信管ヲ使用セルモノナリ

本彈丸制定ノ上ハ塊制破甲彈ニ代ルヘキモノトス

第二 傳造及機能

本彈ハ弾丸、炸藥及信管ヨリナリ金備彈量約四五粒八八〇全長約三五口徑ノ蛋形彈ナリ

弾丸ハ体、底盤及鋼環ヨリ成リ弾体ハ蛋形半徑約二口徑、彈頭肉厚約九三粒ノ鋼製擗山弾体ニシテ下部内側ニ底盤ヲねち着クヘキねち

又

部ヲ設ケ下部外周ニハ軸二〇粧及二五粧ノ鋼製弾帶二條ヲ製ス  
底螺旋ハ彈体底部ニねち著クヘキねち部ヲ有シ中央ニ信管孔ヲ設ケ  
信管ヲねち著クヘキねち部ヲ設ケ

鋼製ハ摩サ一粧ノ鋼製環状破ニシテ底螺旋ニ設ケタル深サ〇・五粧ノ  
環状溝ニ嵌装シ底螺旋緊矩セシ際端塞ヲ確實ニシ火薬瓦斯ノ侵入ヲ  
防止ス

信管ハ九五式破甲中彈底信管「加」ヲ使用シ底螺旋ノ信管孔ニねち著

ク  
炸藥ハ黃那藥ノ被包熔融式ニシテ頭部、中部、底部ノ三部ヨリナリ  
重量約二粧八九ナリ、頭部ニハほほのき裂炸藥頭ヲ冠シ彈著ノ衝擊  
ニヨリ炸藥自燃スルコトナク而モ信管ノ作用ニヨリ完全ニ燃發スル  
如クス

前述以上ノ如クナルヲ以テ本彈丸ハ堅硬ナル彈頭ヲ以テ「ベトン」  
体等ニ慢徹シタル後延期作用ヲ有スル入信管ノ作用ニ依リ炸裂シ破  
壊ノ效力ヲ呈スルモノトス

陸軍

第三 戰力

七年式十五撃加機一號裝藥ニテ初速約八四〇米ニシテ「ベトン」製  
機藥物ニ薦シテハ數彈同一場所ニ命中スルコトニ依リ相當大ナル破  
壊効力ヲ呈スヘシ

第四 番查經過ノ概要

現制破甲榴弾ハ「ベトン」体ニ封シ弾体抗力十分ナラサルヲ以テ新  
ニ弾体抗力大ナル破甲榴弾ヲ試製シ之ニ破甲中彈底信管「加」ヲ使  
用スル如クシ昭和十一年二月伊良湖射場ニ於テ第一回試験ヲ實施シ  
射線上三十三百木ノ「ベトン」製薦墻ニ封シ著速四六〇米ヘ七年式  
十五加一號裝藥ノ射距離約四十木ノ著速ニ相當スニテ射擊セシニ  
弾体抗力並炸藥量度ハ共ニ十分ニシテ弾体機能モ良好ナル成績ヲ  
得タリ、次テ同年六月更ニ七年式十五加ヲ以テ射擊目標ヲ初速約八  
三〇木ニテ射擊シ弾丸効力ヲ試驗セシニ七發中六發命中シ數彈略  
同一場所ニ命中セハ相當大ナル破壊効力ヲ呈スルモノト認メタリ  
矣ニ昭和十一年七月ニハ特別陣地攻防演習ニ供試シ八九式十五撃加

機ニテ「ベトン」製弾藥物ヲ別擧シ相當大ナル彈丸效力ヲ收メシモ  
信管機能不良ノモノアリシヲ以テ同年八月更ニ信管ノ試驗ヲナシ機  
能良好ナルモノラ得タリ、同弾道性ニ就イテハ特ニ試驗セサルモ前  
記諸試驗中ノ成績ニ倣スルニ概木良好ナルモノト認ム  
以上ノ諸成績ヲ綜合シ十分實用ニ適スルモノト認メタルヲ以テ茲ニ  
四五式、七年式、九〇式十五種加幾弾藥九五式破甲榴弾トシテ假制  
式制定ノ上申ヲ爲スニ至レリ

陸技本甲第九號

圖別紙添付  
卷第二〇

陸

八九式十五粍加農彈藥九五式破甲榴彈假制式制定

昭和十二年一月七日 陸軍技術本部長 久村種樹

陸軍大臣伯爵 寺内壽一殿

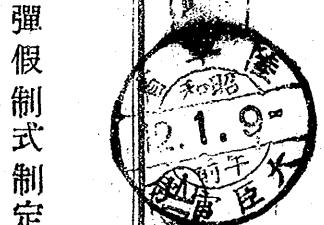
首題弾薬ハ審査ノ結果實用ニ適スルモノト認ムルヲ以テ假制式トシテ制定セラレ  
度左記圖書相添ヘ上申ス

左記

一、八九式十五粍加農彈藥九五式破甲榴彈圖

二、概說 一部

三、細目名稱表中追加 二部



1210

八九式十五粍加農彈藥九五式破甲榴彈機說

昭和十一年十二月  
陸軍技術本部

陸軍技術本部

## 八九式十五粍加農弾薬九五式破甲榴弾概説

### 第一 督査ノ目的及用途

本弾ハ四五式、七年式、九〇式十五粍加農弾薬九五式破甲榴弾ノ督査完了ニ伴ヒ之ヲ八九式十五粍加農弾ニ兼用シ十五粍加農級弾丸ヲ統制セルモノニシテ本弾丸制定ノ上ハ現制破甲榴弾ニ代ルヘキモノトス

### 第二 備造及機能

本弾ノ備造機能ハ四五式、七年式、九〇式十五粍加農弾薬九五式破甲榴弾ト全然同一ナリ

### 第三 督査經過ノ概要

本弾ハ王トシテ七年式十五粍加農ヲ以テ督査セルモノニシテ昭和十一年七月ノ特別陣地攻防演習ニ供試シ八九式十五粍加農ヲ以テ「ベトン」傳染物ニ對シ別擧シ相當大ナル弾丸效力ヲ收メシモ信管機能不良ノモノアリシヲ以テ同年八月更ニ信管ノ試験ヲナシ機能良好ナルモノヲ得十分實用ニ適スルモノト認メタルヲ以テ茲ニ八九式十五

九五式破甲榴弾トシテ假制式制定ノ車上申ヲ爲スニ主レ  
り

現品別卷

陸技本甲第一〇八號

四五式十五榴彈砲彈  
九五式破甲榴彈以下五點圖面  
並概說送付，件通牒

昭和十二年三月一日 陸軍技術本部副官伊東保生  
陸軍省副官寺倉正三殿

本年一月十六日附陸普第一六〇號通牒ニ係ル首顯ノ圖面並概說左記、浦送付ス  
追テ現品ハ陸普番號押捺ノ上銃砲課ヘ直送可致ニ付承知セラレ度

左記

四年式十五榴彈砲彈藥九五式破甲榴彈  
（圖面壹枚）  
概說壹枚

圖面壹枚

百  
參  
通

鑄製十五種白砲彈藥

七  
年  
式  
十  
五  
彈  
加  
農  
彈  
藥

九〇式一三糸力暴彈

八九式十五粍加農彈藥

九拾四通

九拾四通

九拾七通

百通

百  
參  
通

A circular stamp with the characters '陸軍' at the top, '省' on the right, '23-2' in the center, and '號' on the bottom right.

卷之三

省

2

佛  
經

4